

公共施設個別施設計画の疑問と財政を問う

織部 光男（無所属）



Q 5月の断水事故の原因は50年前の硬質ポリ塩化ビニル管の破裂であったが、断水箇所に工事予定はなかった。事業の先延ばし政策の結果ではないか。

A 令和5年度までの計画期間内には更新予定はなく、先延ばしした結果ではない。

Q 北館は解体し駐車場にする予定ではなかったのか。

A 庁舎北館解体整備事業は、令和5年度当初予算に計上するよう準備を進めている。

Q 公園は本個別計画での扱いが未定となっているがなぜか。

A 公共施設個別施設計画は公共建築物に係る計画であるため、インフラ資産である公園は対象施設外である。公共施設等総合管理計画の中で公園の個別計画が未定となっているのは、管理対象施設であるトイレやあずまやや維持管理計画が策定されているため、個別施設計画の形式にまとめる必要があるかを検討している段階であったことを意味している。

「保育士不足の解消」実現を

渥美 嘉樹（みどり21）



Q 菊川市保育士バンクの募集状況では、朝夕の時間帯の募集はあるか。また、実際に朝夕の時間帯でマッチングした事例はあるか。

A 朝夕の時間帯のみで募集や登録は行っていない。今後、登録する段階で朝夕のスポット募集や登録が行えるよう進めていく。

Q 「保育補助者雇上強化事業」は、保育補助者の雇い上げに必要な費用を補助するものであり、事業を導入し、子育て支援員の雇用を強化することで朝夕の保育人材確保につながると考えるが方針は。

A 「保育補助者雇上強化事業」等は、類似の貸付制度との比較や保育所等からの意見や要望などを確認し検討していく。

Q 「保育士宿舍借り上げ支援事業」は、保育士宿舍の借り上げ費用を補助するもの。この事業は保育士確保の大きなアドバンテージになるため、導入を検討すべきと考えるが方針は。

A 「保育士宿舍借り上げ支援事業」の本市の実情は、家から通える範囲での勤務地選択が多いこと、また、保育事業者にも一定の負担がかかることから実施していない。しかし、コロナ禍で若者の働き方に関する意識が大きく変化しているため、その動向を注視していく。

他に「ふるさと納税の使い道」「屋内スポーツ施設の整備構想」について質問しました。



A 小松洗橋の供用開始は、令和15年度以降ではなく令和13年度を目指して事業を進めている。橋に関するの工事を安全に実施し、大雨のときに河川工事をしていて河川が切れてしまうことがないように実施することを考慮した工期が必要であり、最短期でも令和13年度に完成予定と考えている。小松洗橋以外の工事を含めた全体の工事施工期間は、令和15年度までと示している。

	朝~8:30	コアタイム 8:30~17:30	夕 17:30~
保育士A		16:00	
保育士B			
保育士C		11:00	
保育士D			

→ 朝夕の雇用強化で保育士の負担軽減・離職防止

保育士A		16:00	
保育士B			
保育士C		11:00	
保育士D			
保育支援員			
保育士E			